



地域の人材と豊かに学ぶ

昨日、3年理科において、森の案内人の蓮沼昇さんによる出前授業を行いました。授業のねらいは、身近な植物の観察を通して、身の回りの自然への興味関心を高めることでした。蓮沼さんは、ジョークを交えて校地内にある植物の生態や名前の由来など様々な角度からお話をしてくださり、子どもたちは身近な植物を観察する視点や植物の特長について楽しく学んでいました。

今年度から新学習指導要領が全面実施となり、「社会に開かれた教育課程」の実施が求められています。地域の人的・物的資源を活用したり社会教育との連携を図ったりして、学校教育を学校内に閉じずに、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標



を社会と共有・連携して実現させることが求められています。本校でも、今年度の学校運営・経営ビジョンに「学校・地域の特質を生かします！」として人材等の地域の学習材を生かした教育活動を展開し、地域の人材等とねらいを共有しながら共に子どもを育むことを実践しています。

蓮沼さんには、来週の2年生活科の授業でもお世話になる予定です。地域の方々からその方の姿勢や生き方を学ぶ機会にもなっており、キャリア教育の一環としても豊かな学びにつながっています。

○おいしい福島の旬の味が学校給食に登場！

福島市教育委員会では、今年から「福島型給食推進事業」を立ち上げ、福島の地産地消をより強く意識した給食を提供しています。昨日のメニューは「麦ご飯、油揚げと野菜の味噌汁、小松菜のおひたし、肉味噌団子、サクランボ」でした。

6月1日からの学校再開にあたり、学校生活を心待ちにしていた児童への特別メニューとして地元産サクランボが提供されました。大ぶりの熟した甘いサクランボに子どもたちは大喜び。おいしくいただきました。地域の食材を使った学校給食で、食べる力・感謝の心・郷土愛を育む食育を推進していきます。

